

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Blossamジュニア上越春日新田教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「楽しい!」「また来たい!」と思えるような環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが固定化しないよう、職員全員で検討し、立案している。 定期的に特別活動を取り入れ、さまざまな経験を積めるよう支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子での活動を増やす。
2	個別療育の充実	<ul style="list-style-type: none"> メインの職員とサポートの職員を配置し、2対1でご利用者様に合った療育プログラムを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で療育内容の検討会を定期的に行う。
3	活動の可視化	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様には絵や写真カードを使って見通しが持てるよう視覚的に支援している。 保護者様には連絡帳アプリや教室内の掲示板を通して、ご利用者様の活動の様子を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真だけでなく、動画を活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル等の保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"> 周知方法が分かりづらい。 職員一人一人が内容を理解し、説明できる体制になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にマニュアルを見直し、整備を行う。 契約時の説明や玄関、面談室での掲示、連絡帳アプリを活用して周知に努める。
2	保護者同士の交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人手不足、スキル不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事として毎年計画していく。 特別活動に合わせて保護者様にもご参加いただく。 フリー参観の期間を設ける。
3	専門職不足	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人手不足、スキル不足。 言語療法や作業療法等、専門的な支援が必要なお利用者様が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者だけでなく、心理士や保育士等、専門性のある職員が保護者との面談を定期的に行う。 職員が研修に励み、療育スキルを高めていく。